

第二回「西南戦役131年の旅」

—西郷どんが歩いた霧立山地を行く—

平成20年4月21日(月)～23日(水)

明治10年3月、田原坂の戦いで破れた薩軍は、4月21日矢部町(現在の山都町浜町)へ集結し、酒蔵で軍議を開きました。結論は「ひと先ず人吉へ引く」でした。官軍の矢部追撃を目前にして西郷隆盛は側近の村田新八、池上四郎を伴って4月22日に矢部を発し、九州脊梁山地を越え人吉に向かいました。西南戦役から131年、この地域に言い伝えられている話を辿りながら、あの日その時の日程でキリタチヤマザクラやツクシシヤクナゲ、ツクシコバナミツバツツジなどの花を愛でながら西郷隆盛の脊梁山地退路を辿ります。

第一日目 4月21日(月)

10:00～11:00 受付 山都町国民宿舎「通潤山荘」(11:00)通潤橋経由→徒歩→(11:30)通潤酒造【薩軍の軍議が行われた酒蔵の見学と試飲】(12:00)本さつま屋【薩軍への料理仕出しを行い薩摩屋の屋号をもらったと伝えられる料亭】オリエンテーション&昼食会 (13:00)⇒☎⇒(13:30)男成神社【阿蘇大宮司ゆかりの神社。熊本隊が戦勝祈願と戦死者の招魂祭を行った】(15:00)⇒☎⇒(16:00)内大臣峡谷【しんがりの北村隊が最後に矢部を退陣したルート】(16:30)⇒☎⇒(17:00)通潤山荘着宿泊。ガイド:九州ハイランドインストラクター協会

第2日目 4月22日(火)

(08:30)通潤山荘発⇒☎⇒(09:30)沢津【西郷一宿の地といわれる緒方家】(10:00)⇒☎⇒(10:30)栗藤【黒峰登山口、ここから西郷は鞍岡一の瀬へ越えた】(10:40)→徒歩→(12:00)一の瀬・ヒナメ峠【峠で弁当昼食】(12:40)→徒歩→(14:00)一の瀬林道下山⇒☎⇒(14:30)馬見原【西南戦役ゆかりの地・本八代屋・新八代屋見・野戦病院となった龍専寺・薩軍の墓】(15:50)⇒☎⇒(16:00)鞍岡金光寺【西郷や桐野利秋が泊まったといわれるお寺】祇園神社 (16:50)⇒☎⇒(17:00)ホテルフォレストピア着宿泊。ガイド:九州ハイランドインストラクター協会 霧立越の歴史と自然を考える会

第3日目 4月23日(水)

(08:00)やまめの里発⇒☎⇒(08:20)ゴボウ畠着オリエンテーション(08:40)→徒歩→(09:10)日肥峠→徒歩→(09:40)白岩山山頂【天然記念物・植物群落地】(10:00)→徒歩→(11:30)馬つなぎ場(昼食)(12:10)→徒歩→(13:40)山小屋(14:00)→徒歩→(14:40)扇山山頂(14:50)→徒歩→(15:20)山小屋→徒歩→(15:50)松木林道(16:00)⇒☎⇒(18:00)矢部通潤山荘着解散 ガイド:霧立越の歴史と自然を考える会

準備するもの

服装:登山のできるスタイル 履物:トレッキングシューズ又は登山靴等 スパッツ、帽子、雨具、手袋、タオル、リュック、水筒。募集人員 50名まで



軍議のあった酒蔵「通潤酒造」



栗藤登山口よりトングリヤマ



霧立越



男成神社



一の瀬峠



扇山山小屋



西郷一宿の地「沢津」



西郷一宿の地「金光寺」



上椎葉ダム

参加費 @26,600 円 (内訳:本さつま屋昼食 2,000、通潤山荘一泊二食 10,000、一の瀬越弁当 800、ホテルフォレストピア一泊二食 10,000、霧立越弁当 800、資料代ガイド料保険含 3,000) 1日毎に部分参加も可。

お申し込み・お問い合わせ

〒882-1201 宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町大字鞍岡 4615 やまめの里内
霧立越の歴史と自然を考える会事務局 TEL0982-83-2326 FAX83-2324
e-mail: front@kiritachi.net HP: <http://www.kiritachi.net/>

主催 「西南戦役 131 年の旅」実行委員会 霧立越の歴史と自然を考える会
後援 五ヶ瀬町観光協会 山都町観光協会 椎葉村観光協会